

光と風と音のある学校

自ら学び、心豊かで、たくましく生きる金津っ子の育成

かなづ

9月号

令和6年8月30日

実り多い2学期に！

校長 尾田 洋子

長かった夏休みが終わり、いよいよ9月、2学期を迎えました。夏休みの間、何よりもまず、子どもたちが大きな事件・事故に巻き込まれることなく、安全に過ごすことができましたことを、保護者・地域の皆様に感謝いたします。子ども達は夏休みにしかできない多くの貴重な体験で、とても頼もしくなったようでした。

ところで、先日、パリオリンピックが終わり、今はパラリンピックが開催されています。選手の皆が、全身全霊で競技に挑む姿を毎日のように見ました。どの選手も、その競技を愛し、練習を重ね、夢の舞台での最高の自分を目指してきたことが、彼らのパフォーマンスと笑顔や涙から感じられました。また、10代の選手の活躍も素晴らしいものでした。小学生の頃から夢と目標をもち、強い気持ちでこのオリンピックに挑む姿に感動しました。

1学期に行った本校の児童対象のアンケート「将来の夢や目標をもっていますか」の項目では、91%の児童が肯定的に答えていました。素敵です。夢や目標がまだ具体的ではない子は、とにかく様々なことにチャレンジして見つければよいのです。金津っ子達が夢や目標に向かって努力を続けられるよう一緒に励ましていきたいと思えます。

さて、学校においては、夏休み中もいくつか大切な行事がありました。8月22日、今年も「奉仕の塔」供養を行いました。この日は、本校にとって忘れてはならない日となっています。「奉仕の塔」は、昭和26年8月22日、上田名にありました旧金津小の敷地拡張の奉仕作業中に、2名の尊い命が土砂崩れのために犠牲となる痛ましい事故があり、その方々の遺徳を偲ぶため建立されたものです。毎年、地域と母校を愛する気持ちを育てるため、6年生が中心となって供養を行っています。子どもたちには、金津で育ったことを誇りに思い、この出来事を風化させることなく受け継いでいってほしいです。この供養に際し、地域のご協力と大勢の皆様のご参加をいただきました。当時に思いを馳せ、地域の方々と共に供養できたことは、児童の心に残る出来事となりました。

また、25日の「親子奉仕作業」では、たいへん暑い中、運動場の除草をしていただきました。お蔭様で、9月28日の運動会に向け、すっきりとした運動場と体育館で練習ができそうです。合わせて、金津の森の小道のチップまきもしていただきました。2学期も金津の森を活用した学習が目白押しです。本当にありがとうございました。

そして、いよいよ2学期のスタート。元気な学校生活を送るには、まず『早寝・早起き・朝ご飯』といった規則正しい生活が大切です。早く元の生活リズムに戻れますように、また、いつでもどこでも、進んで元気のよい「率先あいさつ」ができますようにご家庭での声かけをよろしく願いいたします。

2学期は、学習や運動に打ち込むには最適な季節であり、各種コンクールや運動会、マラソン大会、バス遠足や社会科見学、そして、収穫感謝祭など多くの行事が予定されています。ぜひ実り多い2学期となりますよう、保護者や地域の皆様には、一層のご理解ご協力をよろしく願い申し上げます。